

セラミックサイエンス研究部門専任教員着任のお知らせ

着任のごあいさつ

このたび、2020年11月1日より佐賀大学肥前セラミック研究センターの助教に着任しましたHAO DONGと申します。

私は中国科学院金属研究所 無機非金属研究室の出身で、2013年に博士号を取得後、物質・材料研究機構と法政大学を経て、2018年から2020年10月まで佐賀大学肥前セラミック研究センターの非常勤研究員として奉職させていただきました。

有田焼は1616年に日本で最初の磁器として誕生し、現在まで400年以上の歴史を有しています。現在、有田焼の売上高は最盛期と比べて大きく低下しており、地域活性化につながる有田焼のさらなる新機能化のニーズが高まりつつあります。この有田の町に肥前セラミック研究センターが設置されていますが、私はセラミック産業と地域の活性化への貢献という点に大きな興味を持っています。

肥前セラミック研究センターでの私の主な研究は、新規陶磁器素地の開発と有田焼の高機能化を目指すことです。私のこれまでの物質・材料研究機構と大学での研究の経験を活かして、研究の成果を地域活性化や地域ブランドの構築、さらには、国際交流へ貢献できるよう努力してまいります。

有田に勤めて2年半が過ぎようとしておりますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしく申し上げます。

HAO DONG

2020年11月1日